

保育おおさか

No. **430**

平成 23 年 6 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>

社会的責務と期待に応える 保育者の資質向上、 処遇改善を



保育部会長 永野 治男

今期も引き続き、部会長に任命されましたので、挨拶申し上げます。はじめに、さきの「東日本大震災」では、大津波による家屋の流失や「原発事故」によって、多くの人命や人々の暮らしが奪われてしまい、天災とはいえ、心が痛む毎日です。犠牲者や被害者の方々には心からお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

この間、先生方には、災害義援金として多額の拠出金を賜り、感謝申

しあげます。義援金の受付は、現在も続いています。目標の半分弱といったところです。

今回の義援金については、全保協の副会長である菊池繁信先生のはたらきにより、厚労省も一定の条件により「保育所運営費」からの支出としての取り扱いを認めることとなったので、他方面でも、各拠出はされておられますが、もう少しご協力をお願いしたいと存じます。

しかしながら、総理をはじめ、政府与党の対応は、被害を受けた国民の望みや期待に応えないばかりか、手にした政権の座を守ることに必死となっています。そればかりか、国民への情報提供は不適切で、情報操作の感まで否めません。

こうした政府・民主体制下で示された「新システム」は、税制改革の検討まで閣議決定し、その実行を図ろうとしています。財源さえおぼつかない政権最大のマニフェストの「子ども手当」に固守し、保育（養護と教育）に市場原理を導入しようとしています。

これから山場を迎え、国の動向を

注視しながら、更なる働きかけが必要かもしれません。

一方、大阪発信の「保育園における地域貢献事業」として、700人を超える「スマイルサポーター」の養成ができ、今後さらに、広範な活躍が見込める状況となってきたものの、保育園に期待される役割や社会的な責務も大きくなっており、保育者（法人や保育士を含む）の業務と責任が、より重くなっています。

こうした状況を踏まえると、保育者の資質向上とともに職員・保育士の処遇改善を図れるよう、保育単価の見直しや社会的評価の向上に向けたはたらきかけが必要です。

部会の皆様のご支援をいただきながら頑張つてまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

6月8日(水)、社会福祉施設経営者部会総会（記念講演を「社会福祉施設長研修」として位置づけ）が開催されます。以下詳細。

- 1.日時 平成23年6月8日(水)午後2時～4時30分
- 2.会場 ヴィアーレ大阪 2階「安土の間」
- 3.内容 総会議事 午後2時～2時50分
記念講演 午後3時～4時30分

記念講演では、「税と社会保障の一体改革」（仮題）と題し、厚生労働省 社会・援護局長 清水 美智夫氏が講演。多数のご参加をお待ちしております。

なお、詳細につきましてはすでに郵送またはFAXでご案内しております。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせください。

TEL:06-6762-9001



平成 23 年 3 月 12 日、九州新幹線博多―新八代間が開通し、先に開通の新八代―鹿児島中央間と合わせ、九州

全線の開業を迎えた。列車は、最速の「みずほ」と「さくら」、各駅に止まる「つばめ」の3種。青森から鹿児島まで、列車2000キロが新幹線でつながった。歴史的な出来事である。新大阪―鹿児島中央間を最速3時間45分で結ぶそうである。昭和43年10月の改正の時刻表を見ると、新大阪―西鹿児島（現鹿児島中央）間は寝台特急で15時間以上かかっている。しかし当時、特急列車は高嶺の花であり、一般庶民は座席の夜行急行に乗りし、19時間近くかけて移動するのが一般的だった。まさに隔世の感である。

愚生も若いころ、周遊券を片手に各駅停車や夜行列車で九州方面に貧乏旅行に出かけたことを懐かしく思い出した。

中年になった今、青森から鹿児島中央まで、ご当地のうまい駅弁と美酒を味わいながら、車窓より日本の美しい景色を眺め少し贅沢な新幹線旅行をしたいと思う今日この頃である。

(編集委員 T・S)

保育をめぐる動向と課題を テーマに記念講演

— 幼保一体化に向け進む具体的取り組み

5月24日、大阪社会福祉指導センターにおいて、平成23年度保育部会総会が開かれました。大阪府議会の浅田均議長、永野孝男議員をはじめ、大阪府、堺市、東大阪市の各行政からもご臨席いただきました。

〈第1部・式典〉

式典では、5年勤続感謝状の贈呈が行われ、対象者502人を代表し、常弥寺保育園の川島由美子さんが感謝状を受けられました。

また、育児相談員認定証授与式が行われ、新たに98



総会のようにと記念講演を行う今村氏（左上）

人が育児相談員として認定されました。代表して志紀保育園の小角由里子さんに大阪府社会福祉協議会・酒井喜正常務理事から認定証が交付されました。

感謝状、認定証を受けられた皆さんには、子育て支援のキーパーソンとして、今後より一層のご活躍を期待しています。

〈第2部・記念講演〉

今村則継氏（厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課総括課長補佐）が「保育をめぐる動向と課題」をテーマに講演。

幼保一体化の目的

新システムに基づく幼保

一体化の目的として、今村氏は次の3点を挙げられました。

①質の高い学校教育・保育の一体的提供

— 世界に誇る学校教育・保育を全ての子どもに提供する。

②保育の量的拡大

— あらゆる場面で男女が共に活躍できる社会を目指す。女性の就労率向上や多様な保育のニーズに対応する保育の量的拡大を図る。

③家庭における養育支援の充実

— 支援を必要とする全ての親子が、全ての地域において、あらゆる支援を受けられるようにする。

給付システムの一体化

幼保一体化の具体的取り組みには地域における学校教育・保育の計画的整備を策定することが必要としたうえで、給付システムの一



育児相談員認定証授与式

体化について次のように説明されました。

●市町村はこども・子育てに係る需要の見込みを調査し、その結果に基づき市町村新システム事業計画（仮称）を策定する。

●市町村は、指定されたこども園（仮称）や多様な保育事業を行う事業者を共通の財政措置（子ども・子育て支援給付（仮称））の対象

とするなど、地域の実情に応じて提供体制を計画的に整備する。

●家庭における養育を支援する事業（地域子育て支援拠点事業等）についても、広く財政措置の対象とし、計画的に推進する。

量の拡大、質の確保と向上

また今村氏は、待機児童の解消を図る観点も踏まえ、多様な保育事業の量的拡大が必要であること、指定制度の導入により、多様な事業者の保育事業への参入を促進すると述べられました。さらに、財政措置に関する二重行政の解消及び公平性確保のために、学校教育・保育に係る給付の一体化に

向け子ども園給付（仮称）の創設を目指すと考えました。給付については、質の確保・向上が図られた学校教育・保育を提供するために、公定価格として、必要な水準の給付をすべての子どもに保障すると述べられました。上乗せ徴収については、特別な教材費や制服代などの実費徴収について、国がその範囲と上限額の基準を定めるとともに、低所得者に対しては国または市町村が補足給付を行うこと、少人数学級による教育活動を行うなど一層の質の向上を図るための費用など実費徴収以外の上乗せ徴収については、上限は定められないが、低所得者は免除することにも言及されました。

保育部会新役員名簿

（任期）平成23年度～24年度の2年間

役職名	氏名
会長	永野 治男（榎塚台保育園）
副会長	武内 慎吾（旭ヶ丘学園）
	亀井 信昭（明善保育園）
	橋詰 幸雄（善根寺保育園）
	齊藤 和正（坂門ヶ原保育園）
	嶋田 典之（取石南保育園）
	森田 信司（花園保育園）
	高田テルミ（貝塚南保育園）
幹事	菊池 繁信（もみの木保育園）
	三角 和義（たんばぼ保育園）
	三角 智昭（たんばぼ安威保育園）
	東口 房正（いずみっこ保育園）
	市橋 智昭（一乗寺学園）
	高山 昌弘（春日保育園）
	中島 一（天野山保育園）
	池尾 弘久（くさべ保育園）
	田中 正清（泉佐野すえひろ保育園）
	矢野 宗子（浦堂保育園）
	浅井 孝男（あけぼの保育園）
	水崎 勝（寝屋川なかよし保育園）
	門谷 明（陽気保育園）
	熊井 茂治（千里山やまて学園）
	宮武 勲（大野台保育園）
	土井 昭（天宗清見台園）
会計監査	西浦 正義（ココアンジュ新家）
顧問	中辻 利夫（泉北園）
	高岡 國土（千里丘愛育園）

地域に根ざし、地域に育つ 高齢者とも交流・ふれあい

歯の健康「歯ッピークラブ」
スイミングと英会話の特別保育も

高槻市

城南宙保育園



かわいらしい園舎



歯科医による「歯ッピークラブ」

「子どもは豊かに伸びていく可能性をその内に秘めている。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う保育」を保育理念にされています。

法人内に住宅型有料老人ホームが併設されているため、高齢者との交流を日々大切にされています。月1回園内へ招待し、高齢者が

童心にかえって歌・ゲーム・手遊び・季節の行事などに園児が参加されています。さらに週1回、子どもたちが高齢者施設へ訪問し、昔懐かしいおもちゃなどの遊びを通じて楽しみを共有しています。子どもたちからは無農薬野菜やお花をプレゼント。また高齢者からは手作りの編みもの、鯉のぼり、折紙作品などがプレゼントされます。お互いに交流を通じてふれあいを楽しんでおられます。

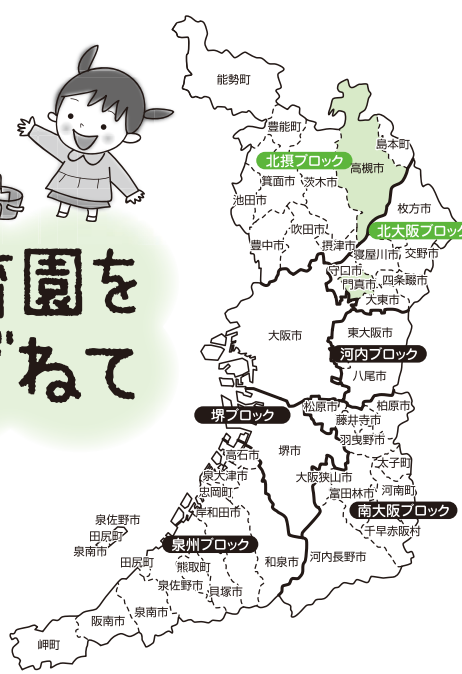
昨年、保護者会がつくられ夏まつりを主催。盆踊り、ゲーム、屋台などを楽しみました。卒園親子、近隣の学校・幼稚園、自治会など地域の方々も行事に招待し、地域に根ざして育つ保育園として3年目を迎えられます。

(編集委員M・K)



保育園を
たずねて

427



いずみっこ保育園は平成21年4月、門真市初の民営化4園のうちの1つ。京阪電車または大阪モノレールの門真市駅から徒歩10分の場所に位置します。

隣接する姉妹園の幼稚園とはフェンス1枚で園庭が繋がっており、園庭や遊具を共有しています。子どもたちがのびのびと遊べる広々とした環境を提供しています。道路を挟んだ向かい側には小学校もあり、保・幼・小が隣接。民営化を機に駐車スペースを確保し、園舎の耐震工事を実施。雨天時で



ディズニーで囲まれた廊下



元気な鯉のぼり

の送迎に困らないよう、屋根つきの駐輪場も整備されています。

保育方針「はつらつと子どもらしく、わんぱくに、チャレンジ精神を尊重し、子ども自身の可能性を広げ育みます」のもと、のびのびとした保育を実践されています。

定員の70人に対して十分な空間があり、広々とした廊下や天井にはディスプレイの壁紙が施されています。

園を後にするとき、園庭の鯉のぼりが元氣に見送ってくれました。公立時代から受け継いでいる手縫いだそうです。毎年その年の色で染めあげるため、一番端のものは少々色あせ、時代を感じさせてくれます。今年は何んな色の鯉のぼりが仲間入りしたのでしょうか？

(編集委員M・S)

はつらつ・チャレンジ
子どもの可能性を育む

のびのび遊べる広々環境
手縫いの鯉のぼり受け継ぐ

門真市

いずみっこ保育園

信貴山の四季のうつろい感じて 栽培体験で野菜ざらいも克服

太陽の光と水とスキンシップ
音楽と英語、そして体操を

八尾市

千塚保育園



みんなでお芋の収穫

地域との関わりを大切に
され、高齢者施設との交流
音楽に「和太鼓」を取り
入れ、運動会や防火フェス
ティバルなどの機会で発表
するなど郷土文化を継承さ
れています。最近では苦手な
子どもも多い正座への挑戦

では遊戯やゲームを楽し
み、一緒に歌うなど、お互
いに良い関係をつくられて
います。

外 環状線から少し東
八尾市郊外に千塚保
育園があります。平成18年
度に園舎を建て替え、定員
が150人に増え、地域の
待機児童解消に貢献されて
います。

保育園からは信貴山が一
望でき、自然環境には大変
恵まれています。「山がピ
ンク色になったね！赤く
なったね！」と、季節の移
り変わりが手にとるように
感じられるとのこと。絵画
教室でも四季折々の信貴山
をモチーフにすることもあ
るそうです。

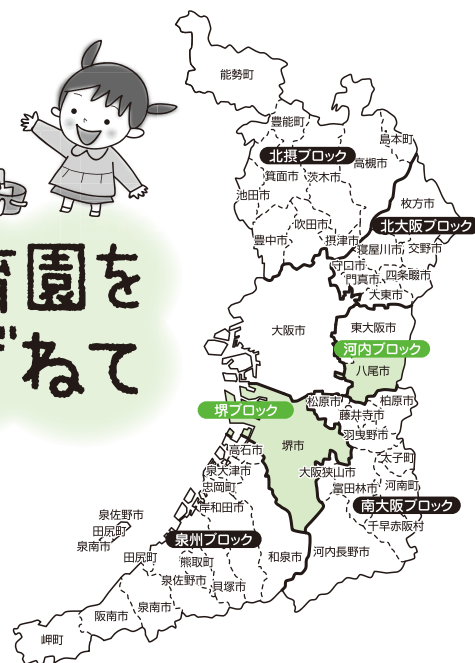
「乳児には太陽の光と水、
そしてスキンシップ！幼
児には音楽、英語、そして体
操！と、子どもたちの可能
性の目覚めのためにこれか
らさまざまなことにチャ
レンジし続けたい」と清水
勝子園長先生は熱く語られ
ます。（編集委員S・S）

も含め、3年前から茶道教
室の取り組みも。お点前や
作法導入を通して躰にもな
り、1月の参観日には、子
どもたちによるお点前が保
護者にも振る舞われていま
す。その味は生涯忘れられ
ないことでしょう。



保育園を たずねて

428



南海高野線北野田駅か
ら徒歩15分の閑静な
住宅地にある登美丘西保育
園は平成17年4月、堺市立
登美丘西保育所が民営化、
定員120人で開園。今年
7年目を迎えます。「生きる
力を育てよう」「人とかわ
る力・コミュニケーション
力を育てよう」「自ら活動す
る意欲を育てよう」を保育
目的に、保育目標には
①健康で心豊かな子ども
②思いやりのある子ども
③意欲・好奇心のある子ども
を掲げられています。

「楽しく遊ぶことで力が
身につき、育つ」との考え
から、強制ではなく、自ら
しようという気持ちで湧く
ように、子どもたちに関わ
ることを日々心がけた保育
をされています。



登美丘西保育園の菜園

自然や環境を大切にする
心を育てるために、近隣の
公園に出かけては、四季を
通して変化する木々や草
花、果実などに目を向ける
ようにされています。

人とかわるコミュニケーション力 自ら活動する意欲を育てる

子どもらのクッキングに生きる食育
「かるがもキッズ」で子育て支援

堺市

登美丘西保育園

また4、5歳児にはセカ
ンドステップ（暴力をふる
わずに言葉で解決する）の
プログラムも実施されてい
ます。

地域の子育て支援を大切
にされています。毎月1回、
保育士が校区の福祉サロ
ン「かるがもキッズ」を訪
問し、地域の子育て家庭を
支援。公園での出前保育、農
家の人たちや老人会など地
域の人たちとの交流もされ
ています。

平成21年4月には定員30
人の登美丘西保育園分園が
開園され、地域の待機児童
解消に貢献をされています。
（編集委員T・S）



得意なギターで音楽指導

幼少期から憧れていた保育士になって早4年目。新人の頃は、子どもたちと本気でぶつかっていきました。その中で子どもたちの素直さや保育の楽しさを感じ

おりづる保育園 東大阪市

課題をのり越える子どもに感動
体育指導や得意のギターを活かす

宮尾 映一朗さん



男性保育士がいる 保育園

がんばる男性保育士の声と園長先生のコメントを紹介します

じました。昨年は園長の計らいで、体育指導員の資格を取得させていただきました。フリー保育士として体育指導や得意のギターを活かして音楽指導もさせていただきます。0〜5歳児各年齢にあった指導内容を考え、時には指導案どおりにいかない難しさもありましたが、自分自身成長できた気がします。今年度は年長組の担任となりましたが、この経験が活かされるように頑張りたいと思っています。

めだか保育園 岸和田市

子どもたちのために頑張る毎日
努力すれば子どもたちの信頼が得られる

横井 雄也さん

僕が保育士になろうと思ったきっかけは、13歳年下の弟。時々、親に代わりお迎えに行った時、弟と同じクラスの子どもたちと遊びました。弟の担任の保育士さんがその姿を見て、「保父さん（男性保育士）になつてみれば？ むいていると思うよ」と言われ、保育士になることを決意しました。

子どもたちは何でも吸収し、目に見えて成長がわかります。私が褒めると子どもたちもやる気になり、「きょうも、あれやりたーい！」と何度もチャレンジしてくれ、私もついつい熱くなつてしまいます。子どもたちが自分で課題をのり越えていく姿に感動する毎日です。

（園長から）
私は、男性保育士として何か女性とは違う保育ができればと思っていました。しかし、日常生活においてごく自然なことを一緒にするだけで、男性保育士の存在が子どもたちに与える影響は少なくないと日々感じています。

（園長から）
ただで、男性保育士の存在が子どもたちに与える影響はありますが、気働きができ、繊細な感性を持っている宮尾先生は園の中で中和的な役割を果たしてくれ、子どもたちからも職員からも慕われる優しい先生です。運動神経抜群で、ギターも上手く、さまざまな才能を持っている先生です。遠慮がちで控えめな性格なので、これからはもう少し前へ出て、得意分野をどんどん活かし、リーダー的な存在へと育ってくださることを期待しています。



朝の会でお歌の練習

ある日、「先生ピアノ弾ける？」と、子どもに聞かれました。見栄を張り、思わず「弾けるよ」と言ってしまった。実はピアノが苦手なのです。できるだけ

失敗をしないで弾けるよう毎日練習しました。うたの会で演奏し、少し失敗しつつも最後まで弾け、「先生すごい！弾けたね！」「またピアノ弾いてね」と子どもたちはとても喜んでくれました。

自分が努力することにより、子どもたちとの信頼関係が築けることを経験しました。これからもずっと子どもたちと一緒にさまざまなことにチャレンジし、子どもたちのために自分の苦手なところも克服していきたいと思っています。

保育士になって12年になりますが、保育士という仕事を天職だと思っています。（園長から）

横井雄也先生には、現在3歳児を担当してもらっています。得意のハーモニカの音が部屋から聞こえています。「子どもたちに好かれるのも一つの才能ですよ」といつも言っている通り、子どもたちに大人気の保育士さんです。保護者からも「横井先生がこんなふうと言ってたよ」と子どもたちが家で話すエピソードもたくさん聞かれます。

北摂

スマイルサポーターと
コミュニティー・
ソーシャル・ワーカー
意見交換会

吹田市では平成17年、民間社会福祉施設が地域の社会資源として認知・活用されることを目的として、府内でもいち早く、吹田市社会福祉協議会に施設連絡

会（平成22年現在加入施設数、保育・児童24、高齢35、障がい12、その他2施設）を立ち上げました。これまでの施設連絡会の活動を通じて、徐々に地区福祉委員の方々にもご理解をいただいているところですよ。

平成22年度現在、吹田市私立保育園連盟加盟園24カ所には、16カ所38人のスマイルサポーター（以下「SS」）が在籍していますが、



活発な意見交換

「園として地域の子育て支援は行っているが、現状そのみにとどまっている」「せっかくSSの資格を得たのに、これだけでいいのか」「子育て支援だけでは、地域の方々との接点が少ない」などの声があり、それを受けて私保連では、市社協と共同して、SSによる地域貢献をより推し進めるよう計画しました。

市社協では、コミュニティー・ソーシャル・ワーカー（以下「CSW」）を市内6地区に配置。地区福祉委員と協働して地域の福祉ニーズの把握や事業を行っており、そこにSSが加わることで、地域福祉がさらに前進することを期待して、私保連と施設連絡会で、まずSSとCSWとの意見交換会を持つことにしました。

意見交換会では、施設連絡会の熊井茂治会長から、施設連絡会の成り立ちやとりくみについて、私立保育園連盟の武内慎吾会長からは、保育園での子育て支援事業、保育部会がSSを養成している経緯や思いについて、市社協の田田倫久課長から、市社協のとりくみ、特にCSWの活動内容の報告がありました。

その後6地区に分かれてCSWとSSの情報交換、意見交換が行われました。保育園と地区福祉委員との共同の取り組みの事例、子育て支援事業の他にも、高齢・障がい分野での事業に

ついて活発な意見交換が行われました。出席したSSにとっては、子育て支援だけでなく、視野を広げた地域貢献に取り組む必要性を考える機会になりました。

子育て支援を通して地域福祉を考えると、そのニーズは多様化しており、自施設だけの自己完結の事業だけでは対応しきれなくなっています。保育部会の地域貢献の目標を支援員を育成することのみにせず、地域と施設の懸け橋となり地域全体で支える福祉の実現を目指す活動を進める点で、スマイルサポーターの働きが期待されます。（あびによん保育園N・Y）

旬

友の便りに東北人らしい粘り強さ
パリパリ歯ざわりの破竹が旬

東日本大震災から2カ月半が過ぎ、未だ復旧の目処立たずの場所が日々映像で流されるのを見て、焦りを感じるのは私一人ではないでしょう。原発の近隣住民は、命は助かったものの、家から出ていけ！と憤りも山を越す気持ちでありましよう。

政府には性根を据えて対処していただきたい！今まで外野席で野次っていた立場から逆転したのに、未だに外野席気分ではなからうな？こんなことを言い出すと止まらないから、この辺りで…。先日、被災した気仙沼の

我が園も36年振りに全面建て替えをし、新園舎にもようやく慣れてきたところ。さて、園芸活動を！と思ったら、畑に仮設倉庫がーんと座っている。暫しの間プランターでの野菜づくりに転換。

狭い自宅に避難させていた花鉢も新芽をどんどん出している。場所がなくなり、元の園に。さてさて、今までは日陰もなく、山アジサイには過酷な条件。それなら

と出てくる。まあ、自分の気に入った形になるまで、3年はかかります。4月の筈に続き、今は破竹が旬。パリパリの歯ざわり感が良く、孟宗竹の柔らかいモノよりも好きだ。釜で炊けるコーナーは確保済み、あちこちに散らばっていた道具類も集め、ストレス解消法の一つの炊き込みごはん。始めチヨロチヨロ中パッパ終わりの頃にほそぼそと、最後に追い焚き、お焦げも旨いよ！紅生姜用に梅も漬けないかんし、昨年できなかった夜の集いの準備も！（H・N）

平成23年度 近畿ブロック保育研究集会 告知

7月21日(木)、22日(金)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、滋賀県立県民交流センター・ピアザ淡海などにて近畿ブロック保育研究集会が開催されます。詳しくは、5月1日付、本紙に同封しました開催要項をご覧ください。

近畿ブロック保育研究集会は近畿圏内の各府県市が輪番で担当し、今年度は滋賀県が幹事です。

昨年度は大阪府が幹事をしましたが、滋賀県からも多数ご参加いただきました。

今年度は大阪府が積極的に滋賀県の応援をする番です。多数のご参加をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、開催要項がご入用の場合は事務局までお問い合わせください。

TEL.06-6762-9001 (事務局)